

黒須病院 看護部クリニカルリーダーレベル別研修 担当者一覧2017年

ラダーレベル		RFE	レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ	管理	介護福祉士・看護補助
対象		新人看護師	卒後1年目新人看護師	一人前看護師	中堅看護師	達人看護師	主任	新卒・現任
カテゴリー	レベル担当者	石田・榎林・榎本	大谷・小西	山口・高橋	小口・福田	安ヶ平・菅俣	安ヶ平・米山	小口・齋藤・田代
到達目標	目的	日常生活援助のための基本的技術・態度を身につけて、ベッドサイドケアが安全・確実に行える。	日常生活援助のための基本的技術・態度を身につけて、ベッドサイドケアが安全・確実に行える。	看護過程を踏まえた個別的な看護が実践できる。	専門領域における看護実践モデルとなり専門性を発揮できる。	問題解決に柔軟な対応ができ、看護の質を高め維持していく力となる。	所属長の補佐ができる。	自らの行動の役割と業務内容を把握し実践する。
		受け持ち患者のケアを通して看護の知識が深められる。	受け持ち患者のケアを通して看護の知識が深められる。	状況に応じたリーダーシップが発揮できる。	受け持ち看護師としての役割が発揮できる。	固定チームナーシングにおいてリーダーシップを発揮し、チームを動かすことができる。	適切な看護が効率的にできるよう援助する。	介：専門職業者としての基本的技術・態度で介護が行える。
		指導を受けることにより自己の学習課題を身につけることができる。	チームメンバーの役割と責任を果たす。	院内研修を看護実践に活かせる。	医療チーム内でのリーダーシップが発揮できる。	部署の問題点・課題を明確にし行動できる。	部署での自己の役割を理解し、モデル的な行動がとれ、スタッフへの指導ができる。	補：看護補助業務に必要な知識・技術・態度を習得し行動できる。
		院内研修に参加する。	指導を受けることにより自己の学習課題を身につけることができる。	自己学習課題に向けた学習活動が展開できる。	先輩・学生に指導的にかかわれる。	管理・専門領域において研究・改革の推進者となる。	社会情勢や医療情勢に興味を持ち、基本的理解ができる。	
					看護研究を通して専門性を高めることができる。	教育的役割ができる。		
看護サービス実践能力(看護実践)	患者の権利を尊重し、患者の状態に応じた科学的根拠に基づいた看護の提供	4/1-4/6集合オリエンテーション 4/17-5/18院内留学 8月BLS 12月BLS 10月看護過程 11月フィジカルアセスメント	5/2薬剤管理・ME機器の取り扱い 6/6急変時の対応とトリアージ 7/4看護過程 12/7看護の実際	8/15多重業務 9/19看護の展開と実践	6/28看護記録 8/23救急看護	※看護必要度：院外 9月～12月レベルⅢ・Ⅳの講師	5/15コミュニケーション 6/19医療安全 8/21急変時の対応 11/20感染対策 12/18倫理	
マネジメント能力(管理・倫理)	組織の一員としての役割を認識し、組織の目標達成のための責務を果たす	1月メンバーシップ	10/3退院調整・介護保険制度 2月目標管理	4/18年間計画説明会 5/16メンバーシップ・Dayリーダー 10/17退院調整基礎 12/18目標管理	4/26リーダーシップ 5/24人材育成 9/27退院調整 10/25リーダーシップ② 3/28リーダーシップ③	4/21自己紹介 5/11業務改善実践計画3-① 6/1安全・危機管理 10/5業務改善舌尖計画3-② 11/2コーチング・ティーチング 2月目標管理 3/1業務改善実践計画3-③ ※認定看護管理者：ファーストレベル	5/11看護管理入門 7/13問題解決技法① 10/12問題解決技法② 11/9ストレスマネジメント 3月問題解決技法③	3/19振り返り 目標管理
対人関係能力(社会適応)	患者家族を尊重したコミュニケーション技術で人間関係を築き上げる	2月訪問看護研修	9/5コミュニケーション・看護倫理	6/30コミュニケーション 11/21看護倫理	11/22看護倫理 1/24目標管理	9/7リフレクション	8/10リフレクション	
教育・研究能力(自己開発)	専門職業人としての自己知識・技術を高め、看護への科学的追及を行う	7月リフレクション 3月1年の振り返り	8/1メンタルヘルスケア 11/3忘れられない看護エピソード 3月看護実践報告会	7月看護研究基礎(院内or院外) 2/20事例発表		※看護に必要な基礎理論	※看護に必要な基礎理論	